

平成24年7月6日

名古屋産業大学

専任教員・非常勤講師 各位

教育研究センター
センター長 成田 暢彦

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成13年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、平成23年度で11年目を迎えました。これまでのアンケートの結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、平成23年度の春学期 Semester におきましても7月第3週に皆様のご協力により「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきましたが、結果がまとまりましたので、別紙の通り報告いたします。

平成22年度後期より質問項目の変更および回答形式の変更を行ないましたので、そのまま平成22年度前期と比較することは難しくなりました。しかし、変更内容から似通った項目を抽出し、今回の結果を前年同期（平成22年度前期）と比較しますと、B項目では9項目中1項目で0.1ポイント評価が上昇し、4項目では同じ結果となっております。評価が上昇した項目 B (5)「先生は、学生の理解度を確認しながら授業を進めましたか」は4.1ポイントと高い評価になり、皆様の授業の熱意が伝わっていることがうかがえます。

また、平成22年度後期と比較しますと、B項目につきましては、評価ポイントが落ちている項目もありますが、B (3)「先生は、学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか」、B (5)「先生は、学生の理解度を確認しながら授業を進めましたか」、B (7)「授業内容はシラバスの内容に沿ったものでしたか」、B (9)「あなたがこれから社会に出るにあたって、あるいは専門の授業を受講するにあたって、この授業には何らかの形で役に立つ内容が多く含まれていましたか」につきましては、同様の結果となっております。

いずれにしましても、B項目の評価ポイントでは全ての項目で4.0ポイント以上となっております。皆様のご努力が成果となって現れてきているものと思われまます。

A項目につきましては、予習復習、意欲については若干積極性が見られますが、まだまだ改善の余地が大きいように思われ、今後の課題と思われまます。

今回の結果をご参考にしていただき、今後ますますの授業改善に役立てていただければ幸いです。